



# ふるえがお



令和6年3月15日

松江市立古江小学校学校だより（文責 校長：青山 巧）

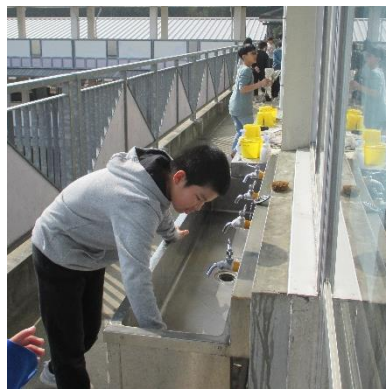
## ご卒業おめでとうございます

本日3月15日は卒業証書授与式です。6年生はどのような思いで式に臨んでいるのでしょうか。

3月1日に行った今年度の最後の公開授業では、たくさんの保護者の方にご参加いただき、親子同じ机を囲み、とても和やかな雰囲気の中でクイズを一緒に考えたり、子どもたちから手作りの花を渡して感動されたりととても素敵な時間となりました。

4日には、卒業プロジェクトのひとつとして、お掃除大作戦を行ってくれました。昇降口の靴箱の上、体育館のギャラリー、ベランダの手洗い場や排水溝、前庭など、日常の掃除時間ではできないところを1時間以上かけてきれいにしてくれました。在校生も、その気持ちに負けないくらいの気持ちで、卒業証書授与式に向けて、校舎内をきれいにし、6年教室や体育館を飾ってくれています。

コロナ禍の影響を受けながら、小学校生活の大半を過ごした6年生。今まで当たり前できていたことが急にできなくなった戸惑いや怒りもあったと思います。「変化に負けない」強い気持ちをもって中学校で活躍してくれることを心より願っています。



6年生を送る会も5年生を中心とした在校生の心がこもったとても素敵な会でした。

## 式辞（一部抜粋）

卒業生の皆さんへの、私からの最後のメッセージです。

それは、自分と違う考え方にも耳を傾けることができる人、その上で自分の考えや気持ちをきちんと言葉で伝えることができる人、そして対話をして納得できる答えを見いだすことができる人になってほしいということです。

4月からは中学校に進学します。そこでは他の小学校の友達と一緒にになります。古江小学校では当たり前と思っていたことが、もしかしたらそうでないこともあるかもしれません。その時にどうすればよいのでしょうか。自分のこれまでのやり方が正しいと一方的に主張しますか。それとも納得しなくても言われたまま違う意見に従いますか。

まずは相手を尊重し、自分と違う考え方や意見をしっかり受け止めることができる人になってください。多様な考え方を認め、その人の良い面に目を向けることはとても大切なことです。

そして、自分の考えや気持ちを伝えてください。相手を否定するのではなく、「こんな考え方もあるんじゃないかな。」と提案してみてください。それでもお互いが納得できなかつたら、しっかり対話をしてください。対話を通してお互いが納得できるものを創り出してください。

これから、皆さんは今まで以上に変化のスピードが速い社会に向かっていき、先生やおうちの人たちも経験したことのない多くのことに会っていくことでしょう。正解が何かわからないこともたくさん出てくるでしょう。大切なことは自分で考え、自分で納得できる答えを見つけられるかどうかということです。

それは一人の力ではできません。周りの人、しかも友だちだけでなく、大人の方など自分と違う多くの人と関わりながらその力をつけていってください。

卒業生の皆さんが古江小学校で学んだことに誇りをもち、今後の人生が希望に満ち溢れたものになるよう心より願い、式辞と致します。

## 祝 卒業

ふくろうは「福」を届けます

「不苦労」ともいいます

人にやさしさと愛を

みずからにきびしく

私達は社会を明るくする運動を

推進しています

松江地区更生保護女性会古江支部



5日に来校され、6年生と教職員にふくろうのマスコットと折り鶴をくださいました。ありがとうございました。

令和5年度も残すところ1週間となりました。この1年間、保護者の皆様、地域の皆様にしっかりと支えていただき、すべての教職員が、子どもたちの学びのために全力を注ぐことができました。ありがとうございました。

裏面に今年度の学校評価を載せていますのでご覧ください。ここで示された保護者の皆様と子どもたちからの数値や意見、そして学校運営協議会委員の皆様のご意見やご助言を真摯に受け止め、来年度以降、今よりももっと「学校が楽しい」「学校が安心」「学校を応援したい」という気持ちを持っていただけるように努めます。

1年間大変お世話になりました。ありがとうございました。